

2001.4.18 現代日本論講読 I

第2回「事実と意見」(田中 重人)

1. 事実と意見
2. 事実と意見の区別
3. 根拠のある意見

## 【教科書 116 頁の実例】

**意見**：日本における物性論の優位

**事実**：学会のセッション数の比較

**根拠となる事実を示せば、  
意見の説得力が増す。**

## 【事実と意見】

- G.W.は米国の初代大統領
- G.W.は米国の最も偉大な大統領

事実とは.....

- 個人の内面から独立
- 誰でも同じ判断ができる

**意見とは.....**

**個人の内面にしか存在しない  
(感情、犯罪など)**

**判断基準が確立していないもの**

**発言や文章は「事実」**

**実質的に他人には確認できなくとも、原理的に確認可能なら  
「事実」**

# つぎの文章は？

- 今日は2001年4月18日である。
- 仙台の冬は寒い。
- Aさんは風邪で学校を休んだ。

# 【事実と意見の区別】

## 論文の定型

問題提起

仮説

材料と方法 ..... **事実**

分析結果 ..... **事実**

結論 ..... **意見**

**事実と意見はできるかぎりわかる**

**章・節レベルで……前述**

**文レベルで……事実の記述には  
修飾語を使わない**

**(比較の場合や確立した定義が  
ある場合は別)**



**「科学的」文体の基本**  
**主観をまじえず事実を記述する**  
**事実に基づく意見**  
**根拠となる事実を具体的に・明確**  
**に書くことで説得力が高まる**